



平成 30 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤代 祥之  
(コード：6323・東証第一部)  
問合せ先 取締役管理部長 岩瀬 好啓  
(TEL：084-960-0001)

## 連結子会社株式の減損処理による特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月期決算(平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)において、当社が保有する連結子会社 2 社の関係会社株式の減損処理による特別損失を下記のとおり計上することになりましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 磁石事業における特別損失の計上について

##### ① 関係会社株式の減損処理及び貸倒引当金繰入額の計上（個別決算）

磁石事業において、生産及び販売ともに当初計画を大きく下回ったことにより、平成 29 年 2 月期決算で減損処理を実施し、特別損失 78 百万円を計上しておりました。生産体制の再構築を図ってまいりましたが、生産設備の立ち上げの遅れが生じたことにより、生産および販売計画に更なる遅れが見込まれることとなりました。このため当社連結子会社であるベトナムの JIKA JIKA CO., LTD.（以下、JJC）の株式の評価を見直し、平成 30 年 2 月期個別決算において当該株式の減損処理を実施し、関係会社株式評価損として 126 百万円を特別損失に計上します。

また、JJC が債務超過となったことに伴い、同社への貸付金に対して、債務超過相当額 286 百万円を平成 30 年 2 月期個別決算において貸倒引当金繰入額として特別損失に計上します。

##### ② 減損損失（連結決算）

個別決算で計上した特別損失の JJC 株式評価損及び貸倒引当金繰入額は連結決算では消去されることとなります。連結決算においては JJC 所有の固定資産評価損 312 百万円を特別損失に計上します。

#### 2. ライフサイエンス事業における特別損失の計上について

##### ① 関係会社株式の減損処理及び貸倒引当金の計上（個別決算）

ライフサイエンス事業において、当社連結子会社であるローツェライフサイエンス株式会社（以下、RLS）の売上高及び利益が株式取得時の計画を下回り、株式の実質価額が著しく低下しているため、平成 30 年 2 月期個別決算において当該株式の減損処理を実施し、関係会社株式評価損として 80 百万円を特別損失に計上します。

また、RLS が債務超過となったことに伴い、同社への貸付金に対して、債務超過相当額 111 百万円を平成 30 年 2 月期個別決算において貸倒引当金繰入額として特別損失に計上します。

② 減損損失（連結決算）

個別決算で上記減損処理に伴い計上した特別損失のうち、RLS 株式評価損及び貸倒引当金繰入額は連結決算では消去されることとなります。連結決算においては RLS 株式取得時に発生した、のれんの減損 147 百万円及び RLS 所有の固定資産の評価損 20 百万円を特別損失に計上します。

3. 今後の見通し

本件は、本日付けで公表しております「平成 30 年 2 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に織り込まれております。

以 上